

対馬釜山事務所だよ

せへ ボク マニ バドゥセヨ。

明けましておめでとうございます。
(直訳:新年、たくさんの福を受け取ってください。)

新しい年が始まりました。皆様、年越し「そば」は召し上がりましたか？

家族皆で食べるそば・・・美味しそうですね。対馬ならば「ろくべえ」を食べるところですが、いらっしゃらないのでしょうか？このような家。

アッ、そう言えば、対州そばの伝播のために、上対馬国際交流協会の皆様が11月19日、釜山にいらっしゃいました。日本人の観光客が増えて、日本食、中でも「そば打ち」を習いたい、という要望に答えて、日本食堂の料理長や麺類店の店長、料理学院の主婦を対象に対州そばのそば打ちを見せることになったそうです。出来上がった「いりやきそば」はあっさりして美味しいと大好評でした。そして、その日の夜は対馬と長く交流をしてきた釜山の韓日文化交流協会開催の「韓日交流の夕べ」で「寿川会」の皆様が華やかな日本舞踊をご披露され、大きな拍手を受けていらっしゃいました。

この1週間後の27日、対馬では「朝鮮通信使縁地連韓日交流対馬大会」が厳原町体育館にて開催されました。当日、現場まで足を運んでくださった方もいらっしゃると思いますが、初めて、日本と韓国の通信使の縁地が集まる意義深い行事でした。日韓書道展、朝鮮通信使写真展や茶道展、そして朝鮮通信使と地域振興を語るシンポジウムが、その内容となりました。午後からは去年2回目の通信使行列が再現されましたが、今回は終点が万松院でした。由緒正しい万松院の前での国書交換式はまるで、今から遡ること300年前へタイムスリップしたような心地でした。正使には「雨森芳洲」先生とその「誠信交隣」精神を日本・韓国に知らしめたといっても過言ではない前福岡総領事であった「徐賢燮」さんが、そして対馬藩主には清田対馬支庁長が務めてくださいました。



最近、日本では「韓流」即ち韓国ブームがものすごいですね。この韓国ブームにより韓国日本間の交流が増し、より親密になったかと思えます。

ここで私は、日韓の民間交流と友好を芽生えさせた「朝鮮通信使」こそが、韓流の元祖だと思います。

来年は韓国と日本の国交正常化40周年となります。韓流の元祖をより知って頂くためにも来年の正使の役に「ヨン様」を招待するのはどうかな？とってみました。



対馬釜山事務所 キム キョンイル シン ウンギョン
金 京一、辛 恩京